

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 27 年 10 月 19 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体

国立函館病院 緩和ケアチーム

企画名

ホスピス緩和ケア週間「緩和ケアってなあに？」

事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)

ポスターの院内掲示、地方新聞での取材による告知、病院のホームページへの記載

当日の実施内容について

日時(期間) 10月5日から9日まで

実施場所 国立函館病院内

参加人数 53名

具体的な実施内容:

ホスピス緩和ケア週間における緩和ケア啓蒙活動を4年前から当院緩和ケアチームで行っております。

今年は「緩和ケア.net」から許可をえてダウンロードさせていただきましたDVDを上映しました。また、看護師による緩和ケア相談も行い、緩和ケアチームの各職種(医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士)が作成したポスター展示も行い、多くの方に緩和ケアを知っていただけるよう試みました。

効果について(アンケートの結果など)

緩和ケア相談に来られた人数は11名でDVD視聴は42名が参加されました。DVD視聴は患者さんやご家族(身内)、看護学生さんがされました。

DVDを見ての感想は「自分の妻ががんで、緩和ケアの事は聞いていたが今日改めて知ること多かった」「緩和ケアは手の施しようがなくなったら受けるイメージが合ったが、そうではないことがわかりました」「私はがんを煩っているので、そろそろかかる時期かと思っています」「もっといろいろな人に緩和ケアを知ってほしい。緩和ケアはとても大切だと思います」とのコメントをいただきました。

緩和ケア相談内容は様々でしたが、一部抜粋します。

「化学療法をしたが、副作用がつらく治療をしない方がよかったのか」

「夫が化学療法中であるが、支える家族が疲弊してきた。どうしたらいいか？」

「がんによる痛みがある、どうしたらいいか」

「緩和ケアを受けるタイミングがわからない。もしも受診したいときはどうしたら良いか」
「化学療法で髪の毛が抜けて来た。帽子をかぶった方がいいか？⇒すぐ MSW が対応し、団体から無料で提供して下さった帽子を渡し対応した」

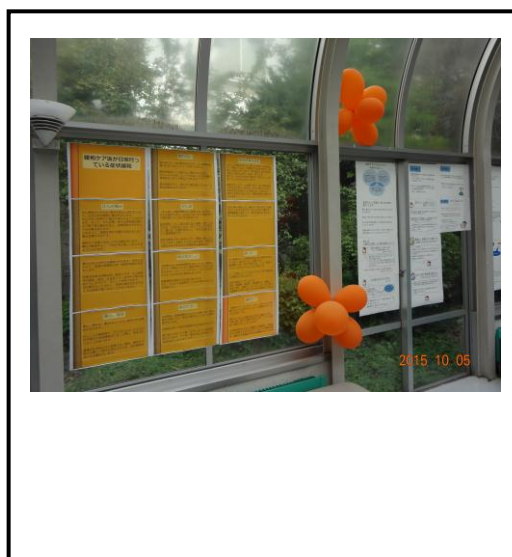
微力ではありますが、少しでも緩和ケアが地域に広がるよう取り組んでいます。

その他報告

※公式ホームページ（緩和ケア.net）への掲載について

（掲載してもよい）

- ポスター、チラシなどを作成した場合添付してください
- 当日の様子（当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など）を添付してください
- 当日の動画をwebにあげてもよろしければ、データを送付ください



（チラシ・ポスター・写真など）

